

国分寺市にふるさとをつくる会

180号

平成29年3月1日発行

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 前島 征武

〒185-0032

国分寺市日吉町一丁目9番地13

電話 042-322-1964

国分寺に関する雑学

ふるさとをつくる会理事代行 武藤正美

国分寺市に長い事住んでいても、知らないことがたくさんあると思います。

今回はふるさとをつくる会の活動拠点である、正式名称は「西恋ヶ窪緑地」ですが、一般的にはエックス山と呼ばれている、武蔵野の面影が残る雑木林であり、子供達への環境教育の場として利用されていますが、なぜエックス山と呼ばれたか、知らない人が多いと思います。昔は農用林で薪炭を作る林で、農道がX字に交差していたことで「エックス山」と呼ばれるようになった。

次の雑学は、東京都の重心が国分寺にあることが(財)日本数学検定協会が実験的に求めた結果、国分寺市富士本3丁目だそうです。その実験結果を説明した看板が、富士本90度公園に設置されています。公園は直角に曲がった道路の角地に面し、敷地が90度曲がっていることから名づけられたとの事です。機会があれば次の雑学についての記事に、

○真姿の池・姿見の池の乙女説

○鉄道に関する事

○宇宙開発は国分寺から等

たくさんのお話があります。

縄文と野川

森の自然塾運営委員 近江吉郎

西東京市(旧保谷市)で発見された下野谷遺跡が2015年に国史跡に指定され2回目のシンポジウムが行われました。縄文時代の遺跡で国分寺市に近く興味を持ち参加してきました。

旧保谷市の遺跡は今から5,000年から4,000年前の縄文時代中期の関東南部最大級の集落とのことです。湧水があり、川が流れ、低地が広がり、それらが生活に都合良く、石神井川の最上流域のこの地が多くの人々の生活を支えたのだと分かりました。

山を切り開き人工の林にしていく、例えばブナ林だったところをクリ林に変えてしまったり、ナラ林だったところをクヌギ林に変えてしまったりと、山の木を作りかえることを当時行っていたそうです。4,600年前にとちの実を食糧として備蓄していたことが確認されたそうで、稲作はまだ始まっていない時代ですが、山の植物を植え替えたり、木の実を備蓄食物としたり、

結構進んでいたのだと感心しました。国分寺には野川の湧水があります。川が流れ平地があり崖線があり国分寺も同様に縄文人が生活するのに適した環境だったということが理解できました。歴史を保存し受け継ぐ、守っていくには大勢の人に訪れてもらうような仕掛けが大切と思いました。



金山緑地公園で撮影

“楽しんだ柳瀬川周辺散策”

ふるさとの森自然観察会

副代表 飯島大平治

2月16日(木)は天気も良く暖かい日でした。理事長以下9名の参加を得て、新秋津から柳瀬川のほとりを歩き、「カモ」「サギ」などを見て回り、金山緑地公園まで歩きました。

途中ホテルの生息地、スイセンの群生を見たりして、金山公園に着きました。そこで昼食とり、帰路に着いたのですが、私が案内役が果たせず、清瀬市役所を通りぬけてから、大林組技術研究所前を歩いて、志木街道を9キロ程歩いてしまいました。途中延命寺という寺を見て回りました。大きな山門があり、立派な寺でした。やっと9キロ程歩いた所で、清瀬駅に着きました。

金山公園は、カワセミ等もいてとても良い所です。ぜひ皆様方も訪れられると良いと思います。またサクラ等の咲く時期に行ってみられては如何でしょうか。

玉川上水は羽村堰から始まる



防災推進の街づくり仲間の会 第2回防災講演会のご案内

広報委員長 荒川隆一

昨年12月に首都圏直下型地震及び各種建物の耐震性評価の第1回講演会を開催し、多数の方に参加頂きました。その際にアンケートを実施させて頂き多くのご意見を頂戴いたしました。その中で地震に対する関心と同時に次回の講演会を希望する意見がございましたので、前回の演題である首都圏直下型地震と立川断層などの地域的問題を詳細に分かりやすく解説頂く講演会を開催する事となりました。

講師の先生も前回同様に国立研究開発法人・防災科学技術研究所より専門の講師をお願いしております。

第2回講演会は3月18日(土)14時~16時恋ヶ窪公民館会議室にて開催いたしますので、日頃のご家庭での準備や、いざという時の行動の在り方などは是非この機会に再確認して頂き、いつかは起きる地震災害に備えて頂きたいと思っております。

豆知識

プロジェクト未来遺産

「プロジェクト未来遺産」は、「100年後の日本に、残したい自然がある、伝えたい文化がある」をテーマとして100年後の子どもたちに、長い歴史と伝統のもとで豊かに培われてきた地域の文化・自然遺産を伝えるために、地域の豊かな自然や文化を残すことを目指して、取り組んでいる日本全国の市民団体・個人を、(公社)日本ユネスコ協会連盟が、「プロジェクト未来遺産」として認定しているものです。

2009年から開始され、現在までに日本全国で63件で、東京都では昨年12月「玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト」が認定され、4件になりました。

この認定対象の「玉川上水ネット」は玉川上水とその分水網流域で市民団体・個人が活動のネットワークを形成し、地域を超えた活動を実施していることが評価されたものです。

(文責 白木 昭憲)

” 姿見の池で野鳥観察”



「冬の野鳥観察」

森の自然塾代表 岡本浜夫

「森の自然塾」も10回を数え、今回はX山から数百m離れた、東京の名湧水57選にも指定されている“姿見の池”及其周辺の樹林地を観察場所とした。樹林地には、落葉樹のコナラ・クヌギ・ケヤキの高木樹と、常緑低木樹のアザミ・サコジュ・ヒカキが、足元にはコバルトブルーの可憐な花をつけた名前が似つかぬ“オオノフグリ”や“スイセン”が白い花を付け春爛漫の先取り、寒さの中にも確実に春の訪れが直ぐそこまで感じられ、「冬の野鳥観察」の場所として最適な環境であった。先ず、樹林地で野鳥に詳しい特別講師の説明と解説を聞き、班別に姿見の池に生息する水鳥を観察した。

いつ来ても見られ、オ・ムスの区別しにくいカウモや、冬鳥でムよりオの毛並みが綺麗なカモと、中でも目を引く美しい“オドリ”のオ。オは嘴が赤く顔の羽衣が白く、胸部は紫で左右に白い筋模様が入ったカワルな美しさに子どもたちもしばしば見入っていた。

仲の良い夫婦を「オドリ夫婦」と呼ばれるが、鳥類のオドリは、毎冬パートナーを替え、抱卵はムのみで、育児も夫婦で協力することがないと言われていて、面白い冬の水鳥です。

樹林地の中を飛び交う野鳥は、水面にたたずんでいる水鳥と比べ観察が難しく、餌場集まるオドリ・カウモ・スズメなどが観察し易く、子供たちが覚えた鳥の名前と数を記載し、春の訪れを待ち望むひと時、「冬の野鳥観察」を子どもたちとともに楽しみました。

森の教室指導者養成講座

森の教室インストラクター会
代表 加藤昌代

平成17年8月から開講された指導者養成講習は29年度で大きな転換期を迎えようとしています。

その第1段階として毎年3月に新受講生を迎えていましたが、募集活動を中止しました。講習は継続の方で8月まで開催して終了となります。

継続される方々は、インストラクターとして、上級資格を取得するのに3年かかる講習を毎月毎月熱心に受講され、その内2年は、自然体験活動の関わる演習を積極的に挑戦していただき、お陰様で28年度の森の自然塾は大変充実した内容で終わろうとしています。2月の寒い時期、19日の行われました姿見の池での冬の野鳥観察にも21人の児童が参加しました。リーダーを取得されました3人の主婦の方も、自然塾の方に顔を出してくださいとのことで、心強い限りです。

29年度の養成講習は未知数の出発ですが、森の自然塾は今のメンバーで3年目を迎え、より一層企画に拍車をかけ、内容をアップして子供達と楽しく、自分達も有意義な時間が持てるよう、紙面をお借りして、皆様今年度もよろしく願います次第です。



ホームページをご覧ください。

- npo-kokubunzifurusato.jp または、
 - 国分寺市にふるさとをつくる会
- を検索ください。

3月行事予定

- 3月 5日(日) 姿見の池ホテルの会作業
9:30 姿見の池
- 8日(水) 森の教室指導者養成講座
9:00 恋ヶ窪公民館
- 8日(水) 森の教室運営委員会
13:30 恋ヶ窪公民館
- 11日(土) 幹事団体執行部会議
10:00 恋ヶ窪公民館
- 11日(土) 合同連絡会議
13:30 恋ヶ窪公民館
- 11日(土) 野川源流自然再生設立準備会
15:30 恋ヶ窪公民館
- 12日(日) 環境ひろば
10:00 市民プール3階会議室
- 18日(土) 防災講演会
14:00 恋ヶ窪公民館
- 19日(日) 姿見の池ホテルの会作業
9:30 姿見の池
- 19日(日) 姿見の池ホテルの会定例会議
13:30 泉町都営住宅集会所
- 25日(土) 日吉町町内会定例会
13:30 第五小学校 ランチルーム
- 26日(日) 防災推進の街づくり仲間の会
14:00 第九小図書室
- 31日(金) 会報配布準備
14:00 恋ヶ窪公民館 (印刷は13:30~)
- 31日(金) 広報委員会
15:30 恋ヶ窪公民館
- 4月 2日(日) グリーンズ・ツアー・ウオーク
8:20 JR武蔵小金井駅改札口

野鳥観察の

「姿見の池緑地」について

この緑地は、東京都条例に基づく緑地保全地域です。規制条例に基づき、昨年3月から、

- 散策路づくり
 - 子どもたちの自然体験学習の場をめざし整備作業が進められております。
- 新緑の頃になれば、東京都希少種の樹木や花も沢山見られます。

防災講演会のご案内

防災推進の街づくり仲間の会
運営会計委員長 中尾明長

演題：首都圏直下型地震・立川断層地震に備えて!

講師：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 藤原 宏行氏

開催日：平成29年3月18日(土)

時間：午後2時~4時(開場1時半)

会場：国分寺市恋ヶ窪公民館会議室
(国分寺市西恋ヶ窪4-12-8
電話042-324-1926)

主催：防災推進の街づくり仲間の会
後援：国分寺市にふるさとをつくる会

多数の皆様のご来場をお待ちします。

エックスやま
本社はX山に位置します
自然環境保護に賛同
賛助会員 TEL 042-321-5441
国分寺市日吉町4丁目13番2
中央システム技研(株)
代表取締役 川野 誠
(長野県下伊那郡出身)

信州の自然を取入れています
建築コンサル
(ふるさとの会会員無料相談)
賛助会員 文京区向丘1-5-7
(株)大気一級建築士事務所
電話 03-3812-6236
FAX 03-3812-6623

知事登録
般一24第118003号
一般建築お引受
田中工務店
八王子市美山町1847-1
電話 042 (651) 1285
FAX 同